

それは本当ですか？

1 インフルエンザにかかった時にタミフルを倍量飲めば早く解熱する



これはウソです。
タミフルと倍量飲んで早く解熱するというデータはありません。

2 インフルエンザの時に麻黄湯とタミフル（あるいはリレンザ、イナビル）を併用した方が早く解熱する



インフルエンザ治療薬と麻黄湯と一緒に飲むと、必ず早く解熱するわけではありません。しかし、実際併用しても何の問題もありません。

3 おたふくかぜ（ムンプス）、水痘（みずぼうそう）は自然に感染した方が軽くすむ



これは昔からある迷信のようです。自然感染で病気にかかっても軽症ですむことは多いですが、まれですが重篤な合併症を起こすことがあります。予防接種（ワクチン）をうって発症を予防するか発症しても軽くすませるのが賢明です。

4 発熱した時に坐薬を6-8時間おきに使った方がよい



発熱は体の生理的な反応です。のどなどにウイルスや細菌が侵入してきたところをキャッチすると免疫系が立ち上がり、39°Cの発熱を3日間出してやっつけようとします。体の正常な反応ですから、よほどグッタリしない限りは使用しない方が早く発熱がおさまります。40°Cを超えても意識があり、けいれんが無ければ後遺症を残すような頭の病気は大丈夫です。

夏ばての漢方薬

	症状	漢方薬
1	食べられない、 胃がもたれる	 六君子湯 (りっくんしとう)
2	おなかが冷える、 軟便	 真武湯 (しんぶとう)
3	全身倦怠感、 手足がだるい	 補中益気湯 (ほちゅうえききとう)
4	朝起きられない、 食欲不振、 元気がない	 小建中湯 (しょうけんちゅうとう)
5	疲れているのに 眠れない	 酸棗仁湯 (さんそうにんとう)

お知らせ

小児夜間急病センター当番日

9月27日(金) 19:30-22:30(受付) 岐阜市民病院